

伊香具小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)		木之本町大音 No.1				木之本町大音 No.2				高山キャンプ場 No.3								
月	日	時	刻	6月4日 9時00分				6月27日 9時00分				9月27日 13時30分						
天		気				晴れ				曇り				曇り				
水		温 (°C)				22.0 °C				22.0 °C				16.0 °C				
気		温 (°C)				25.0 °C				26.5 °C				22.0 °C				
川		幅 (m)				1.4 m				1.4 m				16.0 m				
河		川 名				用水路				用水路				草野川				
生 物		を 採 取 し た 場 所				全 面				全 面				川 の 右 岸				
水		深 (cm)				6.0 cm				5.0 cm				20.0 cm				
流		速 (cm / s)				13.0 cm/s				14.2 cm/s				7.0 cm/s				
水 の よう す		指 標 生 物																
I きれい	1	カワゲラ類												●				
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類												○				
	3	ヒラタケロウ類																
	4	ブユ類																
	5	ヘビトンボ類								○				○				
	6	カガンボ類																
	7	サワガニ				○				○								
I・II 共通	8	ウスムシ類				○				○								
	9	2以外のトビケラ類																
	10	3、14以外のカゲロウ類																
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類																
	12	シジミ類																
II・III 共通	13	カワナ				●				●				○				
III よごれている	14	サホコカゲロウ																
	15	ヒル類				○				○								
	16	ミスムシ								●								
	17	モノアラガイ																
III・IV 共通	18	サカマキガイ																
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ				○				○								
	20	イトミス類				●				●								
	21	ハナアブ類																
水 質 判 定 表	水 の よう す の 区 分					I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の種類の計 (○+●)					2	2	2	2	3	2	3	2	3	1	1	
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)						1	1	1		1	2	1	1			
	合 計 (1欄+2欄)					2	3	3	3	3	3	5	3	4	1	1		
	判定結果(合計が最も大きい区分)					III				III				I				

調査考察・活動内容等

伊香具小学校では、継続的に調査を続けている学校近くの水田横の用水路で、今年度も水生生物調査を行いました。田んぼや生活の用水路として活用されている川であり、子どもたちの生活に結びついている川です。ザリガニや小魚が生息し、子どもたちにとって身近な存在でもあります。また、「やまのこ学習」で行った高山キャンプ場付近の草野川でも調査を行いました。環境の違う2つの川の状況を比較し、環境を考える機会となりました。

①調査場所：	大音区内の用水路
調査日時：	1回目 6月4日
	2回目 6月27日
②調査場所：	高山キャンプ場横 草野川
調査日時：	3回目 9月27日

第1回(6月4日)

天候：晴れ 気温：約25℃ 水温：22℃

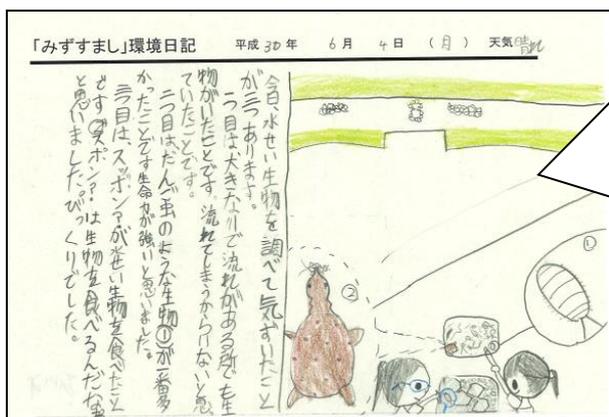


今年は晴天続きで気温も異常に高く、水量は多くはありませんでした。水は透明でしたが、同時に行ったCODの値は約6ppmで、きれいであるといえる状態ではありませんでした。

今年度、初めての水生生物調査であったため、調査方法や生物の名前・見分け方などから学習し、興味をもって活動に取り組む姿が見られました。そして、見た目にはわからないが、たくさんの生物



が生息していることが実感できたようです。多く見つかったものはカワニナとイトミミズでした。また、本校が調査を始めて以来、初めて「スッポン」の子どもを確認できました。子どもたちは、初めて目にする生物に、驚きを隠せなかったようです。また、予想もしていなかった生き物が生息していることを知り、活動の意欲の高まりも見られました。



今日、水生生物を調べて気づいたことが三つあります。一つ目は、大きな川で流れがある所でも生物がいたことです。流れてしまうからいないと思っていました。二つ目は、ダンゴ虫のような生物が一番多かったことです。生命力が強いと思いました。三つ目は、スッポンが水生生物を食べたことです。スッポンは生物を食べているんだなあと思いました。びっくりでした。

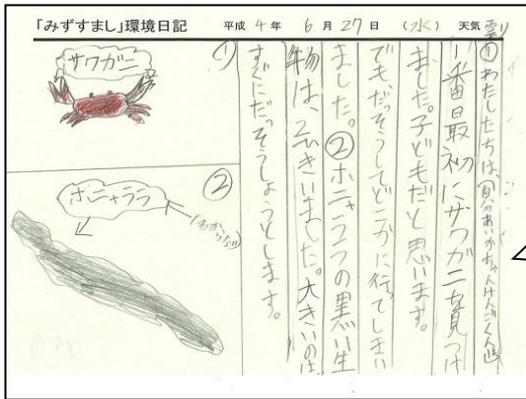
第2回（6月27日）

天候：曇り 気温：26.5℃ 水温：22℃ COD：6～8ppm



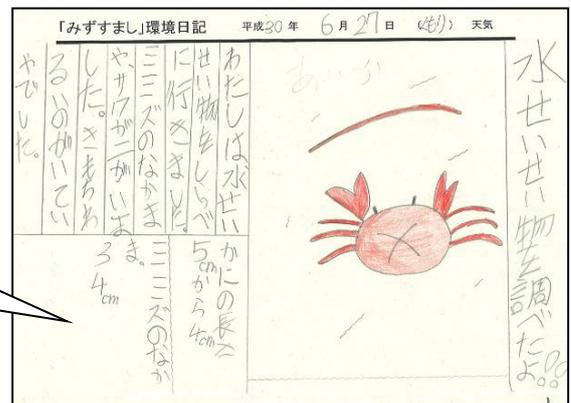
相変わらず気温が高い状況でしたが、そこそこの水量がありました。小魚やザリガニも見られました。1回目の調査では6種類の生物を確認しましたが、今回は8種類見ることができました。多く見つかった生物は、前回と同様、カワナとイトミミズ、加えてミズムシでした。また、シジミやタニシ、ザリガニ、ヤゴも見られました。前回見つけたスッポンは見つけることができず、子どもたちは残念だったようです。同時に行ったCOD調査は、前回同様あまりきれいだといえない状況で、指標生物による水質階級は「Ⅲ」という判定になりました。

カワナが多く見られる関係か、この川で夏にはホタルが見られるという報告もあります。本学区では、何カ所かホタルが確認されており、子どもたちも楽しみにしています。以前は、運動場の側溝にも山水が流れ込んでいて、きれいな水があったため、ホタルを見ることが出来ましたが、近年は運動場でホタル発見の報告がないのが残念です。



- ①私たちは、一番最初にサワガニを見つけました。子どもだと思えます。でも、だっ走してどこかに行ってしまいました。
- ②ホニヤララの黒い生き物は2ひきいました。[名前が特定できなかった。] 大きいのは、すぐにだっ走しようとしています。

わたしは、水生生物を調べに行きました。ミミズの仲間やサワガニがいました。気持ち悪いのがいて、いやでした。



第3回(9月27日)

天候：曇り 気温：22℃ 水温：16℃ COD：3～4ppm



やまのこ学習で行った「高山キャンプ場」の横を流れる草野川(支流)で、3回目となる水生生物調査を行いました。

学校付近の用水路は、CODの値も高く、水質的にはきれいであるとはいにくい環境です。それに比べて高山は、河川の上流部にあり、水質

はとてもよい環境にあるので、両者を比較することで水環境の違いがよく分かりました。学校付近の用水路には、きれいな水にすむ水生生物も見られましたが、どちらかというとあまりきれいでない水にすむ水生生物の方が多く見られます。ところが、草野川の上流は、見つけた水生生物は全てきれいな水にすむものばかりでした。

やまのこ学習では、「森は緑のダム」であることを学びました。森林が雨水を溜め込んで、浄化しながら少しずつ水を送り出す役割を学習し、その水が流れる川のまさに上流で水生生物を観察することで、水質のよいところに多くの水生生物がいることが実感できました。



<子どもたちの感想>

- ・水生生物を調べて、見たことのない生き物ばかりでびっくりしました。木工館で分類をして、この生き物はきれいな水にすむ生き物なので、少しきたない大音川では見ないんだとわかりました。
- ・川に入って生き物調べをしました。水はとても冷たくて、川の(流れの)速さはとても速くて深いところもありました。生き物はいろいろとれたけど、一番とれたのはカワゲラの仲間です。24ひきとれました。二番目にとれた生き物はカゲロウの仲間でした。カワゲラの仲間がいる川はきれいな川らしいです。だから、この川はきれいだというわけです。

まとめ

- 学校付近の調査地点は、田んぼの用水路でありCODの値は高いです。しかし、見た目にはきれいで、水質階級の判定は年間を通じてだとⅡくらいです。
- 高山キャンプ場付近の調査地点は、河川上流部であり、学校付近の用水路では見られない指標生物をたくさん見つけることができ、水質の良さが実感できました。
- 子どもたちは、川の上から見ていただけでは気づきませんでしたが、石の下や泥の中に多種多様な生物が生存していることを理解できました。川を汚すことは、これらの生物の生存を危うくするという事です。そのことに気づくことが大切だと思いました。